CG-WLAPGMH
取扱説明書

Contents

Y613-10870-00 Rev.A

安全にお使いいただくためにお読みください

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。使用されている警告表示および絵記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ本文をお読みください。

警告表示の説明

	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	**この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

⚠ 警告

家庭用電源（AC100V）以外では絶対に使用しないでください。
異なる電圧で使用すると発煙、火災、感電、故障の原因となります。

必ず付属の専用 AC アダプタ（または電源ケーブル）を使用してください。
本商品付属以外の AC アダプタ（または電源ケーブル）の使用は火災、感電、故障の原因となります。

電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
電源ケーブルに重いものをのせたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、引っ張ったりすると電源ケーブルを破損し火災、感電の原因となります。また、電源ケーブル（または AC アダプタ）をコンセントから抜くときにケーブル部を持って抜かないでください。

本商品（AC アダプタ含む）は風通しの悪い場所に設置しないでください。
過熱し、火災や破損の原因となることがあります。

⚠ 警告

本商品（AC アダプタ含む）を分解や改造はしないでください。
感電、火災、けが、故障の原因となります。

本商品の通風孔などから液体や異物が内部に入ったら、AC コンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。

煙が出たり、異臭がしたら使用を中止し、AC コンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。

濡れた手で本商品を扱わないでください。
電源が接続された状態で、本商品の操作や接続作業を行うと感電の原因となります。

本商品は一般事務、家庭での使用を目的とした商品です。
本商品は、住宅設備・医療機器・原子力設備や機器・航空宇宙機器・輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本商品は使用しないでください。本商品の故障により社会的な損害や二次的な被害が発生するおそれがあります。

⚠ 注意

本商品を多段積みで使用したり、通風孔をふさいだりしないでください。
内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

本商品の前後左右、および上部には十分なスペースを確保してください。

換気が悪くなると内部温度が上昇し火災や故障の原因となります。また、商品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きることがあります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙、火災の原因となることがあります。

本商品を次のような場所で使用や保管はしないでください。

- 直射日光のあたる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- 湿気の多い場所や水などの液体がかかる場所
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、じゅうたん等の保温性、保湿性の高い場所
- 腐食性ガスの発生する場所
- 台所、浴室、洗面所などの水気や湿気が多い場所
- ユニットバスや天井裏など高温・多湿で風通しの悪い場所
- 壁の中などお手入れが不可能な場所
- 強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所

事故防止のため、お手入れ可能な場所に設置してください。

本商品（ACアダプタ含む）にほこりなどが付着していると発煙や火災の原因となる場合があります。ほこりなどが付着している場合は、電源を切った状態にしてから乾いた布でよく拭き取ってください。

雷のときは本商品や接続されているケーブル類に触らないでください。

落雷による感電の原因となります。

本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。

故障の原因となることがあります。

無線商品をご利用の際のご注意

■電波に関するご注意

本商品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。また、設置の前に必ず P.2「安全にお使いいただくためにお読みください」をお読みください。

- ・心臓ペースメーカの近くで本商品をご使用にならないでください。心臓ペースメーカに電磁妨害をおよぼし、生命の危険があります。
- ・医療機器の近くで本商品をご使用にならないでください。医療機器に電磁妨害をおよぼし、生命の危険があります。
- ・電子レンジの近くで本商品をご使用にならないでください。電子レンジによって、本商品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の商品仕様に記載されている使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止したうえ、本書に記載されている連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置（例：パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、コレガサポートセンタへ問い合わせください。

■セキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲内であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、

・ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
・メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへ接続し、

・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
・コンピュータウィルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 商品のセキュリティに関する設定を行って商品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、商品を使用することをお勧めします。

はじめに

このたびは、「CG-WLAPGMH」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本書は本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。

また、本商品に関する最新情報(ソフトウェアのバージョンアップ情報など)は、弊社のホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

http://corega.jp/

本書の読み方

■記号について

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

	操作中に気をつけていただきたい内容です。 必ずお読みください。		補足事項や参考となる情報を説明しています。

■表記について

本商品	CG-WLAPGMH のことです。
「　」－「　」－「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[　]	[　] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例:OK → [OK]
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版および Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版のことです。
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版のことです。
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版のことです。
Windows 98SE	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版のことです。

※本書では、複数の OS を「Windows XP/2000」のように併記する場合があります。

■イラスト/画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

本書の構成

本書は本商品についての情報や、設置・接続・設定方法などついて説明しています。本書の構成は以下のとおりです。

■第 1 章 お使いになる前にお読みください

本商品の特長、各部の名称と働きなどについて説明します。

■第 2 章 設置と接続

本商品の設置と接続の手順について説明します。

■第 3 章 設定の手順

本商品の設定の手順について説明します。

■第 4 章 設定画面の詳細説明

本商品の設定画面で設定できる機能について説明します。

■第 5 章 Q&A

トラブルの対処法やよくある質問について説明します。

■付録

本商品の仕様、保証や修理のご案内などを記載しています。

同梱品一覧

本商品をご使用になる前に、以下のものが同梱されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

□ CG-WLAPGMH 本体

□ AC アダプタ（本商品専用）

□マグネット× 2

□壁掛け用ネジセット（アンカ× 2、ネジ× 2）

□ LAN ケーブル

□取扱説明書（本書）

□電波干渉注意ラベル

□製品保証書

目次

第 1 章
お使いになる前にお読みください

この章では、本商品の特長、各部の名称と働きなどについて説明します。

1.1　本商品の特長

本商品は、IEEE802.11g/b の 2 つの規格に対応した無線 LAN アクセスポイントです。本商品には次のような特長があります。

- **Airgo 社提供の高速無線 LAN 技術「True MIMO」に対応**

  MIMO（Multiple Input Multiple Output）技術で、126Mbps（理論値）の高速化を実現しています。また、パーティションが多いオフィスや、電波が届きにくかった会議室などでも通信状況を改善します。

  ※無線 LAN クライアント（パソコン）側に弊社製アダプタ「CG-WLCB126GM」が必要です。

- **IEEE802.11g および IEEE802.11b の 2 つの無線 LAN 規格に対応**

  すでに無線LAN環境の整っている環境でもお使いいただけます。

- **最新の法人向けセキュリティに対応**

  WEP（64bit/128bit）、WPA/WPA2-PSK（パーソナル）の TKIP/AES、また法人向けには RADIUS サーバを使用した IEEE802.1X 認証または WAP/WAP2-EAP（エンタープライズ）にも対応しています。

- **有線 LAN ポートは 100BASE-TX/10BASE-T に対応、5 ポート（Uplink ポートを含む）のスイッチングハブを装備**

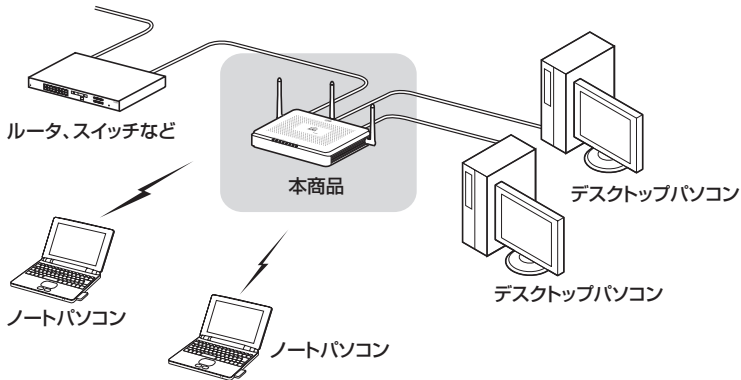
  LAN ケーブルのストレートケーブルまたはクロスケーブルを自動的に判別する Auto MDI/MDI-X に対応しています。また、100Mbps/10Mbps、Full Duplex/Half Duplex を自動的に判別するオートネゴシエーションにも対応しています。

- **IPv6 プロトコルに対応**

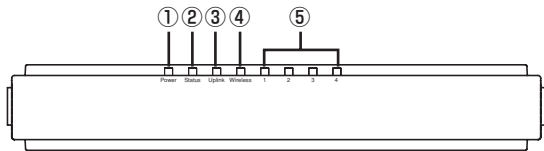
  IPv6 ブリッジ機能に対応しています。

1.2　ネットワーク構成例

本商品は次のようなネットワーク構成ができます。

本商品は WDS ※機能には対応していません。
※ WDS とは「Wireless Distribution System」の略で、無線アクセスポイント同士が通信できる機能です。「リピータ機能」または「アクセスポイント間通信」とも呼ばれます。

1.3　各部の名称と働き

各部の名称と働きを説明します。

1.3.1　前面

① Power LED

本商品の電源の状態を表します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	本商品の電源がオンの状態です。
―	消灯	本商品の電源がオフの状態です。

② Status LED

本商品の状態を表します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	セルフテスト動作時、再起動時、またはファームウェア更新時です。
―	消灯	通常の状態です。

③ Uplink LED

背面の Uplink ポートに接続した機器の状態を表します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	リンクが確立しています。
	点滅	リンクが確立し、パケットを送受信しています。
―	消灯	LAN ケーブルが接続されていないか、リンクが確立していません。

④ Wireless LED

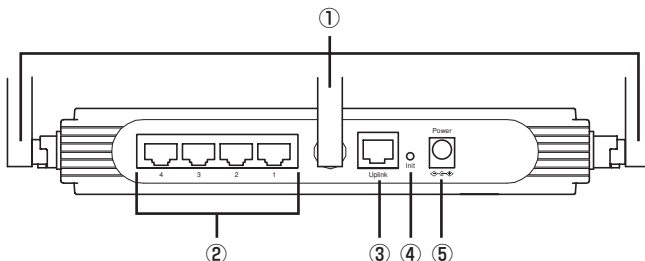
本商品の無線通信の状態を表します。

LED表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	無線通信できる状態です。
	点滅	無線通信でパケットを送受信しています。
―	消灯	無線通信できない状態です。

⑤ LAN LED（1 ～ 4）

背面の LAN ポート（1 ～ 4）に接続した機器の状態を表します。

LED表示		本商品の状態
色	状態	
緑	点灯	リンクが確立しています。
	点滅	リンクが確立し、パケットを送受信しています。
―	消灯	LAN ケーブルが接続されていないか、リンクが確立していません。

1.3.2　背面

①アンテナ

電波を送受信するためのアンテナです。

② LAN ポート（1 ～ 4）

LAN ケーブルを接続するためのコネクタ（RJ-45）です。パソコンなどを接続します。

③ Uplink ポート

LAN ケーブルを接続するためのコネクタ（RJ-45）です。ルータやスイッチなど、上位ネットワークの機器を接続します。

④ Init ボタン

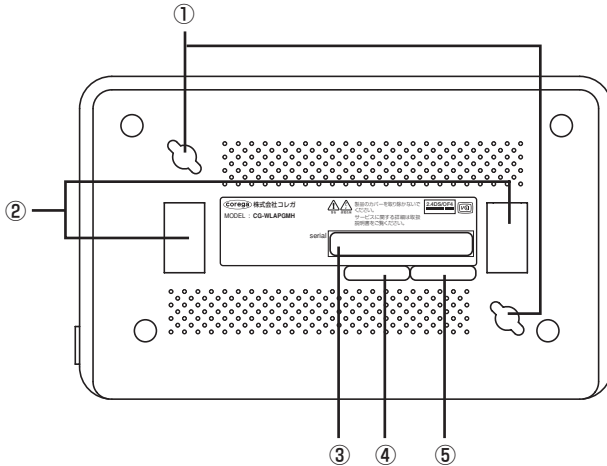
本商品を工場出荷時の状態に戻すときに使用します。

☞ P.84 「5.3.5　工場出荷時の状態に戻したい」

⑤ DC ジャック

本商品に同梱している専用 AC アダプタを接続するコネクタです。

必ず本商品に同梱している専用 AC アダプタをお使いください。同梱の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。

1.3.3　底面

①壁掛け用ネジセット取り付け位置

壁掛け用ネジセットを取り付けることができます。

②マグネット取り付け位置

同梱のマグネットを取り付けることができます。

③シリアル番号

本商品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、コレガサポートセンタへの問い合わせの際に必要です。

④ MAC アドレス

本商品の MAC アドレスが記載されています。

⑤ファームウェア

本商品の工場出荷時のファームウェアのバージョンが記載されています。

メモ

前ページの は次の内容を表します。

使用周波数帯域	2.4GHz 帯
伝送方式	DS-SS 方式 /OFDM 方式
想定干渉距離	40m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域を回避可能

第 2 章
設置と接続

この章では、本商品の設置と接続の手順について説明します。

2.1　設置する前に

本商品を設置する前に、P.2 「安全にお使いいただくためにお読みください」を必ずお読みください。

設置については、次の点にご注意ください。

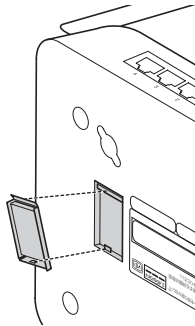
- 電波を妨げないような場所に設置してください。
- ACアダプタのケーブルやLANケーブルに無理な力が加わるような配置は避けてください。
- テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
- 十分な換気ができるように、本商品の側面にある通気口をふさがないように設置してください。
- 傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。
- 本商品の上に物を置かないでください。
- 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 本商品は屋外ではご使用になれません。
- コネクタの端子に触らないでください。静電気を帯びた手（体）でコネクタの端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。

2.2　設置方法

本商品にはゴム足が取り付けられていますので、デスクの上など水平な場所に設置できます。

マグネットを取り付けてスチール家具などに設置する場合や、壁掛け用ネジセットを使用して壁面に取り付ける場合は、次の手順にしたがってください。

2.2.1　マグネットを取り付ける

1　マグネット取り付け位置にあるツメと、マグネットのツメの方向を合わせ、押し込みます。

本商品やケーブルの重みによって本商品が落下しないよう、設置場所に取り付けたあとで確実に固定されていることを確認してください。

2.2.2　壁掛け用ネジセットを使用する

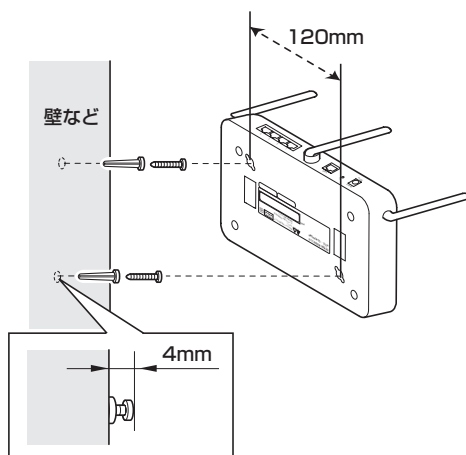
1　必要に応じてプラスチックアンカを取り付けます。

石膏ボード、ベニヤ板などの中空壁で、ネジが締めにくい場合は、プラスチックアンカ（2 個）を使用します。

ネジを取り付ける位置にドリルやキリで穴を開けます（巻末の「壁掛け用ネジセット取り付けガイド」をコピーしてお使いください）。プラスチックアンカを金づちで軽くたたいて埋め込みます。

穴の大きさは、プラスチックアンカがぴったり入る程度にしてください。穴が大きすぎるとがたつきの原因になり、本商品が落下するおそれがあります。

2　ネジ頭が約 4mm 残るようにして、付属のネジを壁（またはプラスチックアンカ）に取り付けます。

巻末の「壁掛け用ネジセット取り付けガイド」をコピーしてお使いください。

3　本商品底面の壁掛け用ネジセット取り付け位置にネジ頭を押し込み、本商品を斜めにスライドさせて、しっかりと固定します。

本商品やケーブルの重みによって本商品が落下しないよう、設置場所に取り付けたあとで確実に固定されていることを確認してください。

2.3　ネットワーク機器を接続する

本商品にパソコンやほかのネットワーク機器を接続する手順について説明します。

2.3.1　LAN ケーブルを接続する

本商品に使用できる LAN ケーブルについて説明します。

■ LAN ケーブルのカテゴリ

通信規格	LAN ケーブル（UTP ケーブル）の種類
100BASE-TX	カテゴリ 5 以上
10BASE-T	カテゴリ 3 以上

■ LAN ケーブルのタイプ

本商品の Uplink ポートおよび LAN ポート（1 ～ 4）は、Auto MDI/MDI-X に対応しています。

ストレートケーブルまたはクロスケーブルのどちらのケーブルタイプでも接続できます。

■ LAN ケーブルの長さ

本商品とネットワーク機器を接続するケーブルの長さは 100m 以内にしてください。

■ LAN ケーブルの接続

1　LAN ケーブルを Uplink ポートまたは LAN ポート（1 ～ 4）に接続します。

ケーブルはカチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。

・ Uplink ポートには、ルータやスイッチなど、上位ネットワークの機器を接続します。
・ LAN ポート（1 ～ 4）には、パソコンなどを接続します。

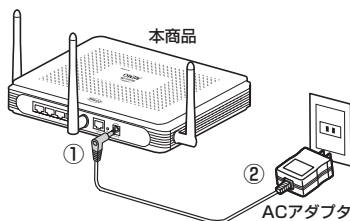
2.4　電源を入れる

本商品には電源スイッチがありません。AC アダプタを接続すると電源が入ります。

・ 必ず本商品に同梱しているACアダプタをお使いください。同梱の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。
・ 本商品に同梱している AC アダプタは、本商品以外に接続しないでください。

2

■電源を入れる

1　① AC アダプタのDC プラグを本商品背面の DC ジャックに接続し、② AC アダプタを AC100V の電源コンセントに差し込みます。

本商品の AC アダプタは、必ず AC100V の電源コンセントに接続してください。規格外のコンセントを使用すると、発熱による発火や、感電のおそれがあります。

2　電源が入ると Power LED が点灯します。

本商品が起動するまでに 1 分程度掛かります。起動中は Status LED が点灯しますので、Status LED が消灯するまでお待ちください。

■電源を切る

本商品の電源を切るには、AC アダプタを電源コンセントから抜きます。

- AC アダプタをコンセントに差し込んだまま、DC プラグを抜かないでください。感電するおそれがあります。
- 電源を切った場合、30 秒以上経過するまで再び電源を入れないでください。電源を続けて切ったり入れたりすると故障の原因となります。

第 3 章
設定の手順

3

この章では、本商品の設定の手順と、基本的な操作について説明します。

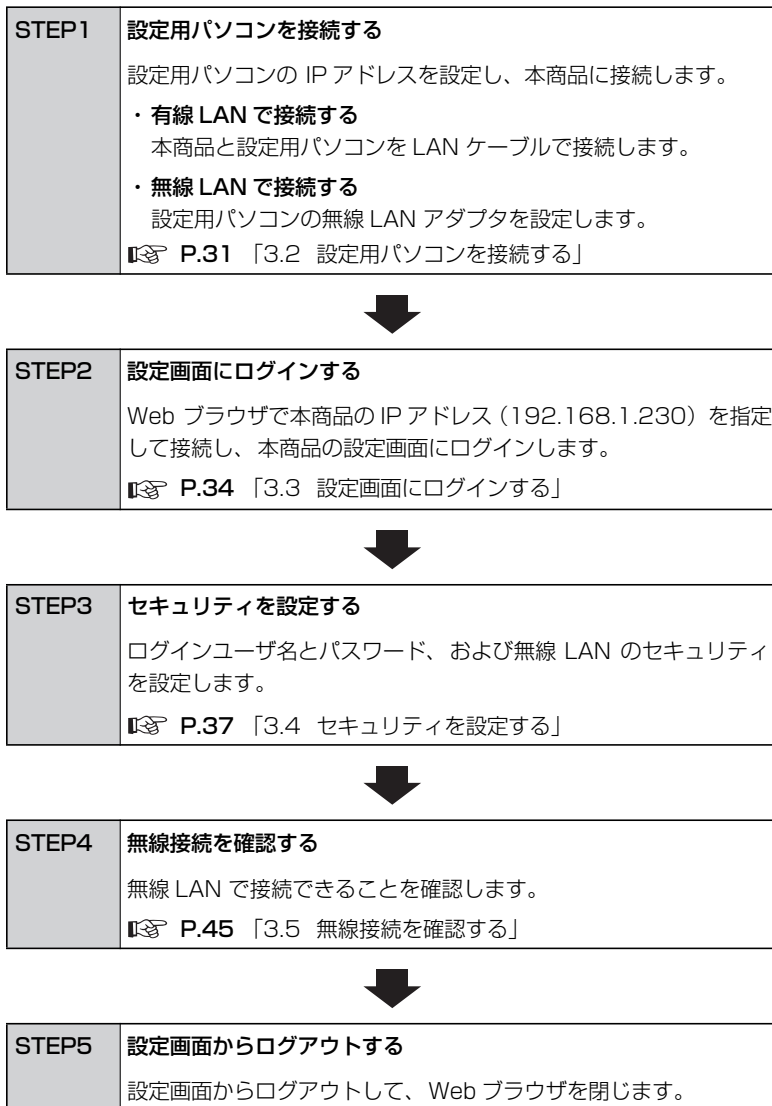
3.1　設定の流れ

STEP1	**設定用パソコンを接続する** 設定用パソコンの IP アドレスを設定し、本商品に接続します。 ・**有線 LAN で接続する** 本商品と設定用パソコンを LAN ケーブルで接続します。 ・**無線 LAN で接続する** 設定用パソコンの無線 LAN アダプタを設定します。 ☞ **P.31**「3.2　設定用パソコンを接続する」

STEP2	**設定画面にログインする** Web ブラウザで本商品の IP アドレス（192.168.1.230）を指定して接続し、本商品の設定画面にログインします。 ☞ **P.34**「3.3　設定画面にログインする」

STEP3	**セキュリティを設定する** ログインユーザ名とパスワード、および無線 LAN のセキュリティを設定します。 ☞ **P.37**「3.4　セキュリティを設定する」

STEP4	**無線接続を確認する** 無線 LAN で接続できることを確認します。 ☞ **P.45**「3.5　無線接続を確認する」

STEP5	**設定画面からログアウトする** 設定画面からログアウトして、Web ブラウザを閉じます。

3.2　設定用パソコンを接続する

本商品を設定するためにパソコンを接続します。LAN ケーブルで直接接続する方法と、無線 LAN で接続する方法とがあります。

・ 無線 LAN で接続して本商品のセキュリティ設定を変更すると、設定用パソコンの無線LANアダプタの設定も同時に変更しないと通信できなくなります。そのため、LAN ケーブルで直接接続して設定することをお勧めします。

・ 本商品の工場出荷時のIPアドレスおよびサブネットマスクは次のとおりです。

IP アドレス	192.168.1.230
サブネットマスク	255.255.255.0

・ 設定用に使用するパソコンがすでにネットワークに接続されている場合は、いったんネットワークから切り離し、本商品を設定するために IP アドレスなどを変更する必要があります。また、本商品の設定後、パソコンの設定を元に戻す必要がありますので、現在設定されている IP アドレスなどを控えておいてください。

■設定用パソコンの必要環境

設定用パソコンで使用できる OS と Web ブラウザは次のとおりです。

OS	Windows XP/2000/Me/98SE
Web ブラウザ	Internet Explorer 5.5 以上

■設定用パソコンの IP アドレス

設定用パソコンの IP アドレスを次のとおり設定します。

IP アドレス	（例）192.168.1.100 192.168.1.230 を除く、192.168.1.1 ～ 192.168.1.254 の範囲で設定できます。
サブネットマスク	255.255.255.0

このあとは、以下の手順をご覧ください。

・ 設定用パソコンを LAN ケーブルで直接接続する

☞ P.32 「3.2.1　有線 LAN で接続する」

・ 無線 LAN で接続する

☞ P.33 「3.2.2　無線 LAN で接続する」

3.2.1　有線 LAN で接続する

本商品の設定時には、設定用パソコンと本商品のみを接続することをお勧めします。

1　**LANケーブルの一方をLANポート(１～４)に接続し、もう一方を設定用パソコンに接続します。**

使用できる LAN ケーブル、LAN ケーブルの接続方法については以下をご覧ください。

☞ P.26 「2.3　ネットワーク機器を接続する」

2　**設定用パソコンを起動します。**

このあとは、以下をご覧ください。

☞ P.34 「3.3　設定画面にログインする」

3.2.2　無線 LAN で接続する

無線 LAN で接続して本商品のセキュリティ設定を変更すると、設定用パソコンの無線 LAN アダプタの設定も同時に変更しないと通信できなくなります。そのため、LAN ケーブルで直接接続して設定することをお勧めします。

☞ P.32 「3.2.1 有線 LAN で接続する」

無線 LAN で接続するには、設定用パソコンの無線 LAN アダプタの設定を次のように変更してください。

設定方法は、設定用パソコンの OS や、お使いの無線 LAN アダプタによって異なります。

項目名	設定値	説明
通信モード	インフラストラクチャ	本商品に接続する場合は、「インフラストラクチャ（Infrastructure）」モードに設定します。 「アドホック（Ad-Hoc）」モードでは接続できません。
ESSID（SSID）	corega	無線 LAN に接続する機器を識別する名前です。
暗号化 （WEP、WPA など）	無効 （暗号化しない）	通信データを暗号化するための暗号方式です。

このあとは、以下をご覧ください。

☞ P.34 「3.3 設定画面にログインする」

3.3　設定画面にログインする

設定画面にログインする手順を説明します。

- 設定用パソコンで、ウイルス対策ソフト、ファイアウォールソフトなどのセキュリティソフトが起動していると、本商品の設定に失敗することがあります。
  そのため、セキュリティソフトをお使いの場合は、以下の手順にしたがってください。

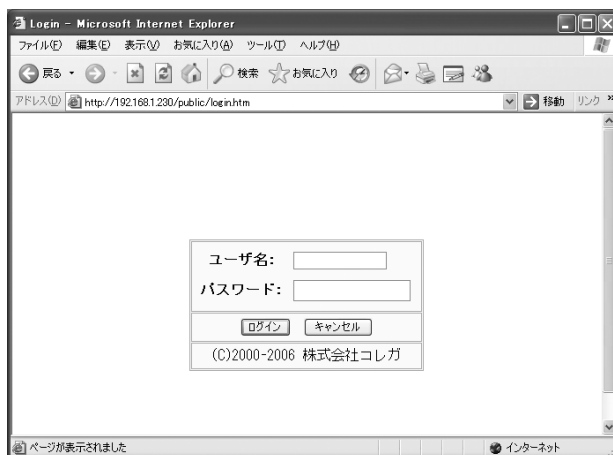
  (1) セキュリティソフトを停止する
  (2) 本商品を設定する
  (3) セキュリティソフトを再度起動する

  なお、セキュリティソフトの停止方法、起動方法は、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書をご覧ください。
- 本商品を設定しているときに、素早いマウスクリックで画面を切り替えたり、同じ項目を何度もクリックしたりしないでください。十分な時間間隔を置いてマウスをクリックし、画面が表示されたことを確認しながら、設定を進めてください。
  素早いマウスクリックで画面を切り替えると、誤動作の原因となります。

1　**本商品に接続した設定用パソコンで、Internet Explorer を起動します。**

2　**アドレスバーに「192.168.1.230」と入力して、Enter キーを押します。**

アドレス(D)　192.168.1.230 ―― 入力します

3　本商品に接続するとログイン画面が表示されます。

ログイン画面が表示されない場合は、設定を確認して再度接続してください。

☞ P.31 「3.2 設定用パソコンを接続する」

それでもログイン画面が表示されない場合は、「Q&A」をご覧ください。

☞ P.71 「5.2.2 設定画面が表示されない」

4　「ユーザ名」に「root」（半角小文字）を入力して、［ログイン］をクリックします。

・ 本商品の工場出荷時の「ユーザ名（管理者ログイン名)」および「パスワード」は次のとおりです。

ユーザ名（管理者ログイン名）	root
パスワード	空欄（設定されていません）

・ セキュリティの観点から、本商品の「ユーザ名」および「パスワード」を変更することをお勧めします。

☞ P.37 「3.4.1　ユーザ名とパスワードを変更する」

5　ログインに成功すると、設定画面（トップページ）が表示されます。

設定画面の詳細は以下をご覧ください。

☞ P.48 「4.1　設定項目一覧」

以上で、設定画面にログインできました。次に本商品の設定を始めます。

☞ P.37 「3.4　セキュリティを設定する」

3.4　セキュリティを設定する

本商品を安心してお使いいただくために、以下のとおりセキュリティを設定します。

■ユーザ名とパスワードを変更する

管理者以外のユーザが設定画面にログインして設定できないように、ユーザ名（管理者ログイン名）とパスワードを変更します。

☞ P.37「3.4.1 ユーザ名とパスワードを変更する」

■無線 LAN のセキュリティを設定する

無線 LAN では電波を使って通信するため、電波が届く範囲であれば、外部から通信を傍受されたり、ネットワークに不正侵入されたりするおそれがあります。ESSID、認証方式・暗号方式を設定することで、無線 LAN のセキュリティを強化できます。

☞ P.40「3.4.2 ESSID、認証方式・暗号方式を設定する」

3.4.1　ユーザ名とパスワードを変更する

ユーザ名（管理者ログイン名）とパスワードを変更する手順を説明します。

1　**設定画面にログインします。**

☞ P.34「3.3 設定画面にログインする」

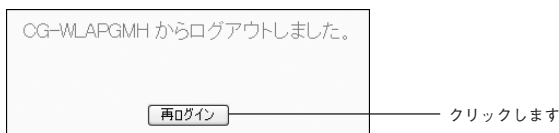
2　**「管理」をクリックします。**

3 「管理者ログイン名」に新しいユーザ名を、「管理者ログイン・パスワード」および「パスワードの確認」に新しいパスワードを入力して、[設定]をクリックします。

ユーザ名（管理者ログイン名）およびパスワードは、12 文字以内の半角英数字または半角記号（半角スペースを除く）で入力してください。

「管理者ログイン・パスワード」および「パスワードの確認」は、入力した文字数分「●」で表示されます。

変更した「ユーザ名（管理者ログイン名）」および「パスワード」を控えておくことをお勧めします。

4 「ログアウト」をクリックします。

5 ［再ログイン］をクリックします。

6 ログイン画面が表示されるので、変更後のユーザ名（管理者ログイン名）およびパスワードを入力して、［ログイン］をクリックします。

メモ

・ ログインに失敗すると次の画面が表示されます。

［戻る］をクリックするとログイン画面に戻るので、ユーザ名（管理者ログイン名）およびパスワードを再度入力してください。

・ 変更したユーザ名（管理者ログイン名）およびパスワードを忘れてしまった場合は、「Q&A」をご覧ください。

☞ P.75「5.2.5 ユーザ名（管理者ログイン名）、パスワードを忘れた」

以上で、ユーザ名（管理者ログイン名）およびパスワードが変更できました。

3

3.4.2　ESSID、認証方式・暗号方式を設定する

本商品で設定できる無線 LAN のセキュリティ機能は次のとおりです。

- ESSID（Extended Service Set Identifier）
  無線 LAN に接続する機器を識別するネットワークグループ名です。SSID（Service Set IDentifier）ともいいます。同じ ESSID を持つ無線 LAN 機器同士でしか通信できないため、独自の ESSID を設定することにより、外部から不正侵入される危険が減少します。
- ステルス AP
  本商品の ESSID を無線 LAN クライアントから見えなくすることにより、外部から不正侵入される危険が減少します。ESSID の隠蔽（いんぺい）ともいいます。
- WEP（Wired Equivalent Privacy）
  通信内容を暗号化し、通信内容の傍受を防ぐセキュリティ機能です。仮に通信データを傍受された場合でも、通信内容の復元を容易に行うことができなくなります。64Bit、128Bit の 2 種類があり、ASCII 文字（半角英数記号）や HEX（16 進数：0 ～ 9、a ～ f）を入力し暗号キーを作成します。
- WPA（Wi-Fi Protected Access）
  通信内容を設定した暗号キーを使って暗号化するセキュリティ機能の一つです。暗号キーは一定時間ごとに変わる TKIP を採用しており、WEP よりも解読されにくくなります。家庭で使用する「WPA-PSK（Personal）」と、企業内で使用する「WPA-EAP（Enterprise）」の 2 種類の設定ができます。
- WPA2（Wi-Fi Protected Access 2）
  WPA2 は、Wi-Fi Alliance が 2004 年 9 月に発表した WPA の新しい規格です。米標準技術局（NICT）が定めた暗号化標準の「AES」を採用しており、128 ～ 256Bit の可変調キーを利用した強力な暗号化が可能です。そのほかの仕様については WPA とほとんど変わらないので、設定により WPA と WPA2 との混在した環境で利用できます。

・IEEE802.1X 認証
無線ネットワークを確立する際に、認証サービスを受けるセキュリティ設定です。正しい認証キーでアクセスすると認証サーバが正規のユーザであることを承認し、通信ができるようになります。企業内のネットワークで利用されます。

・セキュリティ設定は、通信相手の機器に合わせて同じ内容を設定してください。
・WEP と、WPA または WPA2 との併用はできません。
・本商品に無線LAN クライアントのMAC アドレスをあらかじめ登録しておき、接続の許可 / 拒否を設定できます。
☞ P.63 「4.3.4　アクセス制限」

■ ESSID（SSID）、ステルス AP の設定

1　設定画面にログインします。

☞ P.34 「3.3　設定画面にログインする」

2　「ESSID」の［設定］をクリックします。

3 「無線アクセスポイント設定 / 802.11b/g 設定」が表示されます。「ESSID」に設定するESSID（SSID）を入力し、「ステルス AP」を「有効」に設定して、［設定］をクリックします。

- 「無線アクセスポイント設定 / 802.11b/g 設定」の詳細は以下をご覧ください。
  ☞ P.57 「4.3.2 802.11b/g設定」
- 設定用パソコンが無線 LAN 接続の場合は、設定後パソコンの無線 LAN アダプタの設定で ESSID（SSID）を変更してください。
- 「ステルス AP」を「有効」に設定すると、無線LANアダプタの設定ユーティリティなどで AP 検索（アクセスポイントを自動的に検出して表示させる機能）を実行しても、ESSID（SSID）が表示されません。
  そのため、無線 LAN アダプタの設定で、本商品と同じ ESSID をあらかじめ設定しておくか、または本商品の MAC アドレス（BSSID）で本商品を識別してください。

以上で、ESSID（SSID）、ステルス AP が設定できました。

■認証方式・暗号方式の設定

1　設定画面にログインします。

☞ P.34 「3.3　設定画面にログインする」

2　「セキュリティ」の［設定］をクリックします。

3　「無線アクセスポイント設定 / 802.11b/g セキュリティ設定」が表示されます。

設定できる無線の認証方式・暗号方式は次のとおりです。使用する認証方式および暗号方式を決め、参照先の手順にしたがって設定してください。

認証方式		暗号方式		参照先
設定値	説明	設定値	説明	
Open System	オープンシステム認証で接続します。	無効	暗号を使用しません。	P.59
		WEP	WEPキーで暗号化します。	
Shared Key	シェアードキー（共有キー）認証で接続します。	WEP	WEPキーで暗号化します。	P.59

認証方式		暗号方式		参照先
設定値	説明	設定値	説明	
IEEE802.1X	IEEE802.1X 認証で接続します。認証のため RADIUS サーバが必要です。	WEP	ダイナミック WEP キーで暗号化します（WEP キーは設定できません）。	P.59
WPA2-EAP WPA/WPA2-EAP	WPA2-EAP（エンタープライズ）または WPA-EAP（エンタープライズ）で接続します。認証のため RADIUS サーバが必要です。 WPA/WPA2-EAP は、無線クライアントが WPA-EAP または WPA2-EAP のどちらでも接続できます。	自動（AES/TKIP）	AESで暗号化するか、TKIPで暗号化するかを自動で設定します。	P.60
		TKIP	TKIP で暗号化します。	
		AES	AES で暗号化します。	
WPA2-PSK WPA/WPA2-PSK	WPA2-PSK（パーソナル）または WPA-PSK（パーソナル）で接続します。事前共有キーを使用します。 WPA/WPA2-PSK は、無線クライアントが WPA2-PSK または WPA-PSK のどちらでも接続できます。	自動（AES/TKIP）	AESで暗号化するか、TKIPで暗号化するかを自動で設定します。	P.60
		TKIP	TKIP で暗号化します。	
		AES	AES で暗号化します。	

4　設定が終了したら［設定］をクリックします。

設定用パソコンが無線 LAN 接続の場合は、設定用パソコンの無線LAN アダプタの設定で認証方式および暗号方式を変更します。

以上で、認証方式および暗号方式が設定できました。

3.5　無線接続を確認する

本商品に無線LANのセキュリティを設定したあとで、本商品に接続する無線LANクライアント（パソコン）の設定をします。

無線 LAN クライアントの設定方法は、パソコンの OS や、お使いの無線 LAN アダプタによって異なります。それぞれの取扱説明書をご覧になり、**P.37**「3.4 セキュリティを設定する」で設定した内容に合わせて、設定してください。

- 「ステルス AP」を「有効」に設定すると、無線 LAN アダプタの設定ユーティリティなどで AP 検索（アクセスポイントを自動的に検出して表示させる機能）を実行しても、ESSID（SSID）が表示されません。
  そのため、無線 LAN アダプタの設定で、本商品と同じ ESSID をあらかじめ設定しておくか、または本商品の MAC アドレス（BSSID）で本商品を識別してください。
- 無線 LAN で接続できない場合は、**P.37**「3.4 セキュリティを設定する」の手順にしたがって本商品の設定を確認した上で、無線 LAN クライアント側の設定を確認してください。どうしても接続できない場合は、「Q&A」をご覧ください。
  ☞ P.69「**第５章** Q&A」

無線接続できることを確認したら、設定画面（トップページ）の「ログアウト」をクリックして、Web ブラウザを閉じます。

以上で、設定は終了です。

第 4 章
設定画面の詳細説明

この章では、本商品で設定できる機能について説明します。

4.1　設定項目一覧

本商品の設定画面について説明します。

■設定画面（トップページ）

①メニュー

本商品を設定するときに使用するメニューです。クリックすると各設定画面が開きます。

・CG-WLAPGMH

クリックすると、設定画面（トップページ）に戻ります。

・LAN 側設定

IP アドレスや DHCP サーバ機能などを設定できます。

☞ P.50 「4.2　LAN 側設定」

・無線アクセスポイント設定

本商品の無線アクセスポイントとしての機能を設定します。

☞ P.56 「4.3　無線アクセスポイント設定」

・管理

本商品のファームウェアを更新することなどができます。

☞ P.65 「4.4　管理」

・ステータス

本商品の状態を表示します。

☞ P.68 「4.5　ステータス」

②ファームウェアのバージョン

本商品のファームウェアのバージョンです。

③ ESSID

本商品に設定されている ESSID（SSID）です。[設定] をクリックすると無線設定を開きます。

④セキュリティ

本商品に設定されている無線 LAN の認証方式です。[設定] をクリックすると802.11b/g セキュリティ設定を開きます。

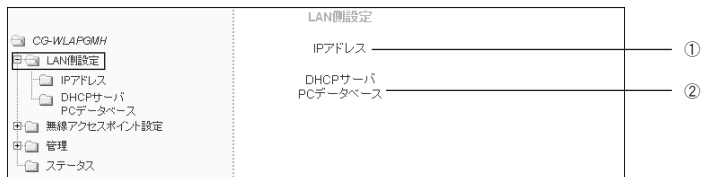
⑤ログアウト

クリックすると、設定画面からログアウトします。

各設定画面にある［HELP］をクリックすると、説明が表示されます。

4.2　LAN 側設定

IP アドレスの設定、DHCP サーバ機能の設定、PC データベース機能の設定ができます。

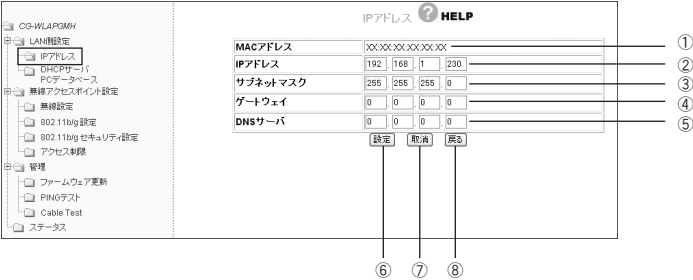
■ LAN 側設定

① IP アドレス

☞ **P.51** 「4.2.1　IP アドレス」

② DHCP サーバ / PC データベース

☞ **P.52** 「4.2.2　DHCP サーバ / PC データベース」

4.2.1　IP アドレス

本商品の IP アドレス、サブネットマスクなどを設定できます。

① MAC アドレス

本商品の MAC アドレスです。変更できません。

② IP アドレス

本商品の IP アドレスです。お使いのネットワークに合わせて設定します。工場出荷時は「192.168.1.230」です。

③サブネットマスク

本商品のサブネットマスクです。お使いのネットワークに合わせて設定します。工場出荷時は「255.255.255.0」です。

④ゲートウェイ

デフォルトゲートウェイアドレスを設定します。

⑤ DNS サーバ

DNS サーバのアドレスを設定します。

⑥［設定］

設定を有効にします。

⑦［取消］

設定を変更前の状態に戻します。

⑧［戻る］

LAN 側設定に戻ります。

4.2.2　DHCP サーバ / PC データベース

■ DHCP サーバ

① DHCP サーバ

DHCP サーバ機能を使用するかどうか設定します。有効にすると自動的にパソコンに IP アドレスを割り当てます。

②リース期限継続方法

DHCP サーバでリース（割り当て）される IP アドレスのリース期限継続方法を設定します。期限指定に設定すると、③リース期限が設定できます。

③リース期限

DHCP サーバでリース（割り当て）される IP アドレスのリース期限を設定します。②リース期限継続方法で期限指定に設定したときに、本項目が設定できます。

④ DHCP 開始アドレス

DHCP サーバでリース（割り当て）開始の IP アドレスを入力します。工場出荷時設定は「192.168.1.21」です。

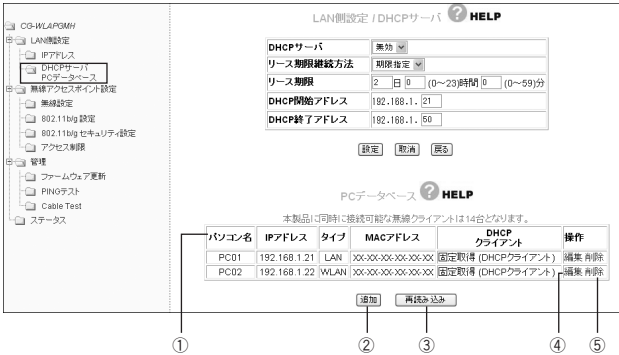
⑤ DHCP 終了アドレス

DHCP サーバでリース（割り当て）終了の IP アドレスを入力します。工場出荷時設定は「192.168.1.50」です。

本商品の DHCP サーバ機能を使用すると、ゲートウェイアドレスと DHCP サーバアドレスは、IP アドレスで設定されたアドレスが割り当てられられます。

■ PC データベース

本商品への接続を管理する無線 LAN クライアント（パソコン）やネットワーク機器を、あらかじめ登録しておくことで管理します。PC データベース機能は、本商品に接続するパソコン（またはネットワーク機器）の MAC アドレスを取得して、登録されたパソコンであるかどうか識別しています。

本商品の DHCP サーバ機能を使用して IP アドレスを取得したクライアントは、自動的に登録されます。

① PC データベース

登録されているパソコン（またはネットワーク機器）の情報を表示します。

②追加

手動で PC データベースに登録します。クリックすると PC データベース（詳細設定）を表示します。

☞ P.54 「■ PC データベース（詳細設定）」

③再読み込み

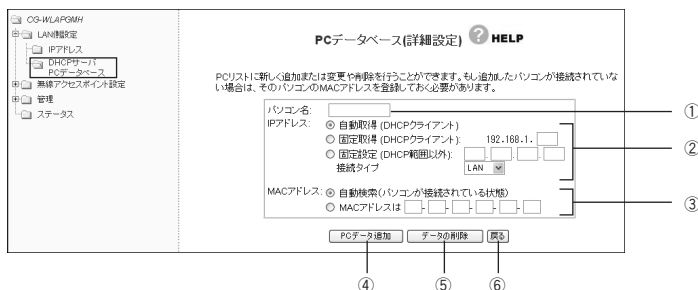
クリックすると最新の情報に更新します。

④編集

登録されている情報を編集します。PC データベース（詳細設定）を表示します。

⑤削除

登録されている情報を削除します。

■ PC データベース（詳細設定）

①パソコン名

無線 LAN クライアント（パソコン）のホスト名を入力します。

② IP アドレス

IP アドレスの取得方法を設定します。

設定値	説明
自動取得 （DHCP クライアント）	パソコンが DHCP クライアント※に設定され、DHCP サーバが有効に設定されている場合に、本商品はパソコンに IP アドレスを自動的に割り当てます。 IP アドレスは通常変わることはありませんが、リース期間に達した場合や、長時間ネットワークから切断していたあとで再接続した場合は、変わることがあります。
固定取得 （DHCP クライアント）	パソコンが DHCP クライアントに設定され、DHCP サーバが有効に設定ている場合に、毎回同じ IP アドレスを取得したいときに設定します。最後の空欄に 1 ～254 までの範囲で任意の数字を入力してください。
固定設定 （DHCP 範囲以外）	パソコンが固定 IP アドレスを使用している場合に設定し、IP アドレスを入力してください。
接続タイプ	有線接続しているパソコンは「LAN」を、無線接続しているパソコンは「WLAN」を設定します。

※ Windows では「IP アドレスを自動的に取得」に設定されていることをいいます。

③ MAC アドレス

MAC アドレスについてのオプションを設定します。

設定値	説明
自動検索（パソコンが接続されている状態）	本商品が通信しているパソコンのMAC アドレスを自動取得します。 パソコンが LAN に接続されている状態でお使いください。
MAC アドレスは	パソコンの MAC アドレスを入力します。本商品はパソコンを個別に認識するために MAC アドレスを使用しますので、入力欄を空白にしたままでは PC データベースに登録できません。

④ PC データ追加

PC データベースに登録します。③ MAC アドレスで自動検索を設定している場合、パソコンに「ARP」を送信して取得した MAC アドレスを登録します。

⑤データの削除

表示されている内容を削除します。

⑥戻る

PC データベースに戻ります。

4.3　無線アクセスポイント設定

無線 LAN のセキュリティなど無線アクセスポイントとしての機能を設定します。

①無線設定

☞ **本ページ**「4.3.1 無線設定」

② 802.11b/g 設定

☞ **P.57**「4.3.2　802.11b/g 設定」

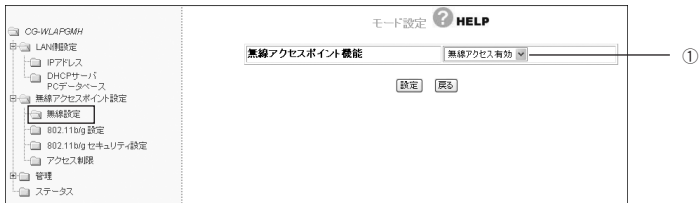
③ 802.11b/g セキュリティ設定

☞ **P.59**「4.3.3　802.11b/g セキュリティ設定」

④アクセス制限

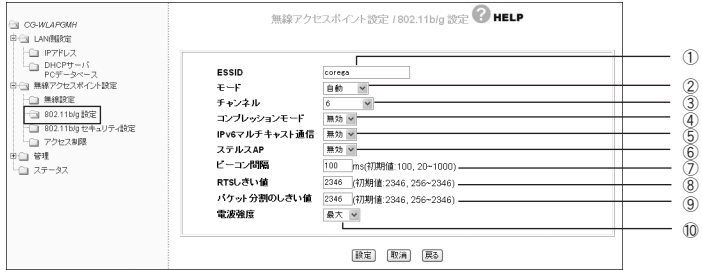
☞ **P.63**「4.3.4　アクセス制限」

4.3.1　無線設定

本商品の無線アクセスポイント機能を使用しないときに設定します。

①無線アクセスポイント機能

通常は「無線アクセス有効」のままでお使いください。「無線アクセス無効」に設定すると、無線アクセスポイントとして使用できなくなります。

4.3.2　802.11b/g 設定

無線 LAN の ESSID（SSID）やチャンネルなどの設定をします。

① ESSID（SSID）

無線 LAN に接続する機器を識別するネットワークグループ名です。接続するすべての無線 LAN アダプタに同じ名前を設定します。32 文字以内の半角英数字または半角記号で入力してください。
工場出荷時設定は「corega」です。

②モード

- **自動**
  IEEE802.11g および IEEE802.11b のどちらかを自動判別して使用します。
- **IEEE802.11g**
  IEEE802.11g に固定します。
- **IEEE802.11b**
  IEEE802.11b に固定します。

③チャンネル

使用する電波の周波数（無線チャンネル）を設定します。自動設定、または 1 ～ 13 のチャンネルに固定できます。工場出荷時設定は「6」です。本商品を複数台設定する場合や、周辺の電波と混信するような場合に変更してください。

④コンプレッションモード

「有効」に設定すると、通信データを圧縮することによって通信速度を向上させることができます。ただし、コンプレッションモードを搭載した無線 LAN アダプタが必要です。また、通信するデータによって圧縮率が異なります。

4

工場出荷時設定は「無効」です。

☞ P.76 「5.3.1　無線接続の効率を上げたい」

⑤ IPv6 マルチキャスト通信

「有効」に設定すると、IPv6 マルチキャスト通信サービス（4th メディアなど）をセットトップボックス（STB）と接続して使用できます。

⑥ステルス AP

「有効」に設定すると、本商品の ESSID を無線 LAN クライアントから見えなくします。また、ESSID を「ANY」や空白にしている無線 LAN アダプタからの接続を拒否することができます。ESSID の隠蔽（いんぺい）ともいいます。

⑦ビーコン間隔

アクセスポイントが常に発信する、アクセスポイントの情報の入ったショートパケット（ビーコン）の送信間隔を設定します。
工場出荷時設定は「100」です。通常は変更する必要がありません。

⑧ RTS しきい値

有線 LAN から受信したパケットを無線 LAN 側に転送するときに、RTS（送信要求）パケットが送信されるしきい値を設定します。ここで設定した値を超えるパケットを送信するときに RTS（送信要求）パケットが送られます。
工場出荷時設定は「2346」です。通常は変更する必要がありません。

⑨パケット分割のしきい値

有線 LAN から受信したパケットを無線 LAN 側に転送するときに、長いパケットを分割するときのしきい値を設定します。ここで設定した値を超えるパケットが分割されます。
工場出荷時設定は「2346」です。通常は変更する必要がありません。変更する場合、パケット長を偶数で指定してください。

⑩電波強度

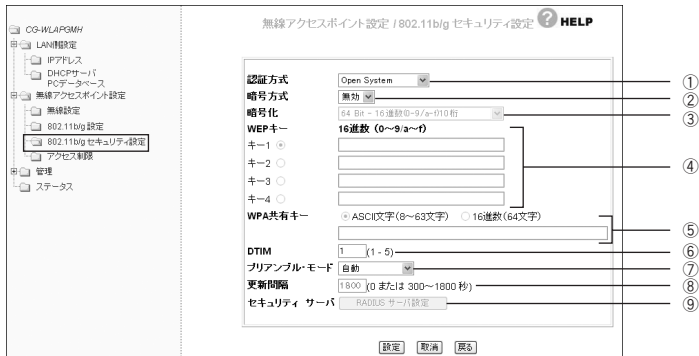
電波出力の強度を設定します。電波の届く範囲を調整できます。

4.3.3　802.11b/g セキュリティ設定

無線 LAN のセキュリティを設定します。

無線 LAN のセキュリティについての詳細は以下をご覧ください。

☞ P.37 「3.4 セキュリティを設定する」

☞ P.40 「3.4.2 ESSID、認証方式・暗号方式を設定する」

①認証方式

無線 LAN の認証方式を設定します。

- Open System
  オープンシステム認証で接続します。②暗号方式は「無効」または「WEP」のどちらかを設定できます。
- Shared Key
  シェアードキー(共有キー)認証で接続します。②暗号方式は自動的に「WEP」になります。WEP の設定が必要です。
- IEEE802.1X
  IEEE802.1X 認証で接続します。認証のため RADIUS サーバが必要です。②暗号方式は自動的に「WEP」になりますが、ダイナミック WEP キーで自動的に WEP キーが設定されるため、WEP キーの設定はできません。

・**WPA2-EAP**
WPA-EAP（エンタープライズ）で接続します。認証のため RADIUS サーバが必要です。②暗号方式は、「自動（AES/TKIP）」、「TKIP」または「AES」のどれかを設定します。

・**WPA2-PSK**
WPA-PSK（パーソナル）で接続します。事前共有キーを使用します。②暗号方式は、「自動（AES/TKIP）」、「TKIP」または「AES」のどれかを設定します。

・**WPA/WPA2-EAP**
WPA2-EAP（エンタープライズ）または WPA-EAP（エンタープライズ）で接続します。認証のため RADIUS サーバが必要です。WPA/WPA2-EAP は、無線クライアントが WPA-EAP または WPA2-EAP のどちらでも接続できます。②暗号方式は、「自動（AES/TKIP）」、「TKIP」または「AES」のどれかを設定します。

・**WPA/WPA2-PSK**
WPA2-PSK（パーソナル）または WPA-PSK（パーソナル）で接続します。事前共有キーを使用します。

WPA/WPA2-PSKは、無線クライアントが WPA2-PSKまたはWPA-PSK のどちらでも接続できます。

②暗号方式は、「自動（AES/TKIP）」、「TKIP」または「AES」のどれかを設定します。

②暗号方式

無線 LAN の暗号方式を設定します。

・**無効**
セキュリティを使用しません。①認証方式で「Open System」を設定したときのみ無効にできます。

・**WEP**
WEP で暗号化します。

①認証方式で「Open System」、「Shared Key」または「IEEE802.1X」を設定したときに WEP で暗号化できます。ただし、「IEEE802.1X」ではダイナミック WEP キーで暗号化するため、WEP キーは設定できません。

・**自動（AES/TKIP)、AES、TKIP**

AES または TKIP で暗号化します。①認証方式で「WPA2-EAP」、「WPA2-PSK」、「WPA/WPA2-EAP」または「WPA/WPA2-PSK」を設定したときに、AES または TKIP で暗号化します。なお、①認証方式で「WPA2-PSK」または「WPA/WPA2-PSK」を設定したときは、⑤ WPA 共有キーの設定が必要です。

③暗号化

①認証方式で「Open System」または「Shared Key」を設定し、②暗号方式で「WEP」を設定したときに、WEP の暗号強度を以下のどれかに設定します。

・**64Bit-16 進数（0-9/a-f）10 桁**

・**128Bit-16 進数（0-9/a-f）26 桁**

・**64Bit-ASCII（半角英数記号）5 文字**

・**128Bit-ASCII（半角英数記号）13 文字**

④ WEP キー

①認証方式で「Open System」または「Shared Key」を設定し、②暗号方式で「WEP」を設定したときに、③暗号化で設定した強度にしたがって、「キー 1」に WEP の暗号キーを設定します。暗号キーは「キー 1」から「キー 4」の 4 つを設定しておくことができますが、実際に使用する暗号キーは 1 つだけです。チェックを付けたキーが使用されます。

⑤ WPA 共有キー

①認証方式で「WPA2-PSK」または「WPA/WPA2-PSK」を設定したときに、WPA 共有キーを設定します。共有キーは ASCII 文字または 16 進数のどちらかの入力方法を選択できますが、通常は ASCII 文字を使用してください。

・**ASCII 文字**

8 文字以上 63 文字以内の半角英数字または半角記号で設定します。

・**16 進数**

64 文字以内の 16 進数（0-9 の半角数字、a-f の半角アルファベット）で設定します。

⑥ DTIM

DTIM（配信トラフィック・インディケータ・メッセージ）の通信間隔の値を設定します。工場出荷時設定は「1」です。通常は変更する必要がありません。

⑦プリアンブル・モード

通信時のプリアンブル・モードを設定します。お使いの無線 LAN アダプタによっては、通常の無線設定では通信速度が遅い場合があります。「長いプリアンブル」に設定を変更することで、通信速度の低下が改善されることがあります。

⑧更新間隔

①認証方式で「WPA2-PSK」、「WPA/WPA2-PSK」、「WPA2-EAP」または「WPA/WPA2-EAP」を設定したときに、暗号キーを更新する間隔を指定します。更新間隔を短くすると安全性は高くなりますが、通信速度は低下します。

⑨セキュリティサーバ

①認証方式で「IEEE802.1X」、「WPA2-EAP」または「WPA/WPA2-EAP」を設定したときに、RADIUS サーバの設定をします。[RADIUS サーバ設定] ボタンをクリックすると、RADIUS サーバ設定を表示します。

■ RADIUS サーバ設定

RADIUS サーバの設定をします。

① RADIUS サーバ IP

RADIUS サーバの IP アドレスを設定します。

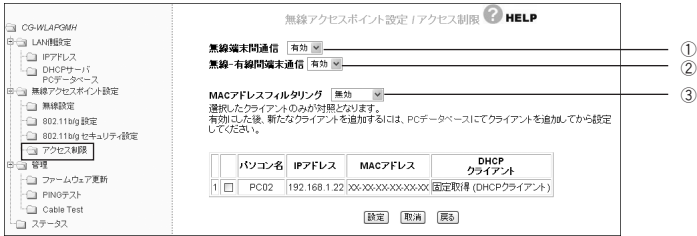
② RADIUS で使用するポート

RADIUS サーバで使用するポート番号を設定します。

③シークレット

RADIUS サーバと本商品の間で使用する共有キー（共有パスワード）を設定します。32 文字以内の半角英数字または半角記号で設定します。

4.3.4　アクセス制限

無線 LAN で接続しているクライアント（パソコン）同士の通信を制限することや、本商品に無線 LAN でアクセスすることができる無線 LAN クライアントの MAC アドレスをあらかじめ登録しておき、接続を許可／拒否する設定もできます。

①無線端末間通信

無線 LAN クライアント（パソコン）同士の通信を制限できます。

- **有効**
  無線 LAN クライアント（パソコン）同士の通信を有効にします。
- **無効**
  無線 LAN クライアント（パソコン）同士の通信を無効にします。不特定多数の端末がアクセスするような環境でプライバシーを守ることができます。

②無線－有線間端末通信

有線 LAN クライアント（パソコン）と無線 LAN クライアント（パソコン）との通信を制限します。

- **有効**
  有線 LAN クライアント（パソコン）と無線 LAN クライアント（パソコン）との通信を有効にします。
- **無効**
  有線 LAN クライアント（パソコン）と無線 LAN クライアント（パソコン）との通信を無効にします。
  不特定多数の端末がアクセスするような環境でプライバシーを守ることができます。

4

③ MAC アドレスフィルタリング

リストに表示されている無線 LAN クライアント（パソコン）の接続を許可するかどうか設定します。

・**接続許可**
チェックを付けた無線 LAN クライアント（パソコン）の接続を許可します。

・**接続拒否**
チェックを付けた無線 LAN クライアント（パソコン）の接続を拒否します。

・**無効**
MAC アドレスフィルタリング機能を無効にします。すべての無線 LAN クライアント（パソコン）の接続を許可します。

4.4　管理

本商品を管理するための機能です。

①管理者ログイン名

本商品の管理者用のログイン名（ユーザ名）を変更します。12 文字以内の半角英数字または半角記号（半角スペースを除く）で入力してください。設定以降はこのログイン名で設定画面にログインします。工場出荷時設定は「root」です。

②管理者ログイン・パスワード

本商品の管理者用のパスワードを設定します。12 文字以内の半角英数字または半角記号（半角スペースを除く）で入力してください。空欄に設定した場合はパスワードを使用しませんので、パスワードを入力しなくてもログインできます。工場出荷時設定は空欄（パスワードを使用しない）です。

③パスワードの確認

パスワード設定時に確認のため、②管理者ログイン名・パスワードで設定したパスワードを入力します。

④工場出荷時の状態へ戻す

本商品の設定を工場出荷時の状態に戻します。

⑤再起動

本商品を再起動します。

⑥設定保存

現在の設定内容をファイルに保存することができます。設定を保存する手順は、以下をご覧ください。

☞ P.80 「5.3.3 設定を保存したい／元に戻したい」

⑦設定読込

⑥設定保存で保存した設定内容を読み込みます。設定を読み込む手順は、以下を参照してください。

☞ P.80 「5.3.3 設定を保存したい／元に戻したい」

⑧ファームウェア更新

本商品のファームウェアを最新版に更新します。ファームウェア更新の手順は、以下をご覧ください。

☞ P.78 「5.3.2 最新のファームウェアを入手して更新したい」

⑨ PING テスト

本商品に接続しているほかのパソコンが、通信可能な状態かどうか確認するためのテストをします。
「PING テスト」をクリックすると PING テストを表示します。

■ PING テスト

①宛先アドレス

テストを実行するパソコンの IP アドレスを入力します。

②［実行］

①宛先アドレスで IP アドレスを入力したあとで、［実行］をクリックすると PING テストを開始します。
テスト結果は「実行結果」の欄に表示されます。

■Cable Test（ケーブルテスト）

使用しているポートの状態を表示します。

①［詳細情報］

接続状態の詳細を表示します。

4.5　ステータス

本商品の状態を表示します。

①更新

最新の情報に更新します。

第 5 章
Q&A

この章では、困ったときの確認方法や解決方法を説明します。

5.1　トラブル対処の方法

本商品を使っていて困ったときは、次のステップにしたがって対処方法を確認してください。

STEP1	**取扱説明書（本書）で設定を再確認する** **管理者などに問い合わせる**

それでも解決できないときは…

STEP2	**本章の「Q&A」を確認する** ☞ P.71 「5.2　トラブルシューティング」 ☞ P.76 「5.3　よくあるご質問」

それでも解決できないときは…

STEP3	**コレガホームページ（http://corega.jp/）の情報を活用する** 本商品の最新情報やよくあるお問い合わせ、最新ファームなどを提供しています。

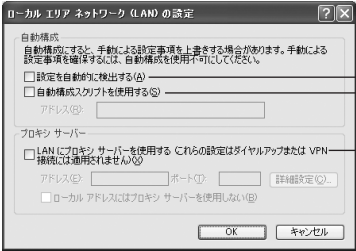
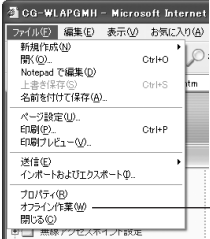
それでも解決できないときは…

STEP4	**コレガサポートセンタに問い合わせる** 連絡先は取扱説明書（本書）の裏表紙をご覧ください。

5.2　トラブルシューティング

よくあるトラブルと対処方法を説明します。

5.2.1　電源が入らない

電源が入らないときは、次の内容を確認してください。

現象	・電源が入らない ・Power LED が点灯しない
対処方法	AC アダプタのケーブルに断線がないか、AC アダプタが正しく接続されているか、正しい電源・電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。 それでも電源が入らない場合は、本商品に問題がある可能性があります。以下をご覧になり修理を依頼してください。 ☞ P.90 「■修理について」

5.2.2　設定画面が表示されない

本商品の設定画面が表示されないときは、次の内容を確認してください。

現象	・本商品に接続できない ・本商品のログイン画面、設定画面が表示されない ・設定できない
対処方法 1	設定用パソコンのネットワーク設定を変更して、本商品と設定用パソコンを直接 LAN ケーブルで接続してください。 本商品の工場出荷時の IP アドレスおよびサブネットマスクは次のとおりです。 IP アドレス：192.168.1.230 サブネットマスク：255.255.255.0 そのため、設定用パソコンの IP アドレスとサブネットマスクは次のとおり設定する必要があります。 IP アドレス：192.168.1.230 を除く、以下の範囲内 192.168.1.1 〜 192.168.1.254 サブネットマスク：255.255.255.0 詳細は、以下のページをご覧ください。 ☞ P.31 「3.2　設定用パソコンを接続する」

対処方法２	設定用パソコンで、ウイルス対策ソフト、ファイアウォールソフトなどのセキュリティソフトが起動していると、本商品の設定に失敗することがあります。 そのため、セキュリティソフトをお使いの場合は、以下の手順にしたがってください。 （1）セキュリティソフトを停止する （2）本商品を設定する （3）セキュリティソフトを再度起動する なお、セキュリティソフトの停止方法、起動方法は、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書をご覧ください。
対処方法３	設定用パソコンの OS が Windows XP SP2 の場合、ファイアウォール機能が動作していると本商品を設定できないことがあります。次の手順で一時的にファイアウォール機能を停止させてください。 （1）［スタート］－［コントロールパネル］をクリックします。 （2）「セキュリティセンター」－「Windows ファイアウォール」（画面の下方にあります）の順にダブルクリックします。クラシック表示を使用している場合は、「Windows ファイアウォール」をダブルクリックします。 （3）「Windows　ファイアウォール」画面の「全般」タブを選択し、「無効（推奨されません）」にチェックを付けて［OK］をクリックします。 なお、本商品の設定を終了したあとで、必ず Windows ファイアウォールの設定を元に戻してください。

対処方法４	Web ブラウザでプロキシサーバを使う設定になっていると、本商品の設定画面が表示されません。次の手順で、Web ブラウザでプロキシサーバを使用しない設定にしてください。 ＜ Internet Explorer 6.0 の例＞ （1）Internet Explorer を起動し、「ツール」－「インターネットオプション」をクリックします。 （2）「インターネットオプション」画面の「接続」タブをクリックします。 （3）［LAN の設定］をクリックします。 （4）「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」画面で、「設定を自動的に検出する」、「自動構成スクリプトを使用する」および「LAN にプロキシサーバーを使用する」のチェックを外します。 （5）［OK］をクリックします。 （6）「インターネットオプション」画面で［OK］をクリックし、パソコンを再起動します。
対処方法５	Internet Explorer を起動したときに、タイトルバーに「オフライン作業」と表示されていると、ネットワークと通信していないため、本商品のを正常に設定することができません。 この場合は、Internet Explorer のメニューから「ファイル」－「オフライン作業」をクリックして、チェックを外してください。

Q&A

5.2.3　無線で接続できない

本商品と無線 LAN で接続できないときは、次の内容を確認してください。

現象	・無線LAN アダプタを取り付けたパソコンから本商品に接続できない ・セキュリティの設定をしたら通信できなくなった
対処方法	セキュリティには、無線グループの ESSID（SSID）、認証方式、暗号化などがあり、通信するすべての機器に同じセキュリティが設定されていなければ通信することができません。 本商品のセキュリティ設定を確認したうえで、お使いの無線 LAN アダプタに同じセキュリティ設定をしてください。 本商品のセキュリティ設定については、以下をご覧ください。 ☞ P.37 「3.4 セキュリティを設定する」 お使いの無線LAN アダプタの設定方法については、お使いの無線 LAN アダプタの取扱説明書をご覧ください。

5.2.4　LAN ポートに接続した機器で接続できない

有線 LAN で接続できないときは、次の内容を確認してください。

現象	・Uplink LED またはLAN LED（1 ～ 4）が点灯（点滅）しない ・通信できない
対処方法 1	接続先の機器に電源が入っているか確認してください。また、パソコンに取り付けられているLAN アダプタに障害がないか、LAN ケーブルがLAN アダプタに正しく接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。
対処方法 2	LAN ケーブルが正しく接続されているか、正しい LAN ケーブルを使用しているか、LAN ケーブルが断線していないかなどを確認してください。 LAN ケーブルの不良は外観からは判断しにくいため（結線は良いが特性が悪い場合など）、ほかの LAN ケーブルに交換して試してみてください。 なお、使用できるLAN ケーブルについては以下をご覧ください。 ☞ P.26 「2.3.1 LAN ケーブルを接続する」
対処方法 3	特定のポートが故障している可能性があります。LAN ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。 別のポートで問題がない場合、以下をご覧になり修理を依頼してください。 ☞ P.90 「■修理について」

5.2.5　ユーザ名（管理者ログイン名）、パスワードを忘れた

ユーザ名（管理者ログイン名）、パスワードを忘れて設定画面にログインできないときは、次のとおり対処してください。

現象	・ユーザ名（管理者ログイン名）を忘れてしまった ・パスワードを忘れてしまった ・以下の画面が表示されてログインできない 認証エラー ユーザ名、またはパスワードが違います。 戻る
対処方法	ユーザ名（管理者ログイン名）およびパスワードを忘れてしまうと、本商品の設定画面にログインできなくなります。この場合は、本商品を工場出荷時の状態に戻すことで、ユーザ名（管理者ログイン名）およびパスワードが初期化されます。ただし、本商品の設定がすべて工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。 P.84 「5.3.5 工場出荷時の状態に戻したい」 あらかじめ本商品の設定内容をファイルに保存しておくと、設定ファイルを読み込んで本商品の設定を元に戻すことができます。 P.80 「5.3.3 設定を保存したい／元に戻したい」

5.3　よくあるご質問

お客様からよくあるご質問とその回答を説明しています。

☞ **本ページ**「5.3.1 無線接続の効率を上げたい」
☞ P.78「5.3.2 最新のファームウェアを入手して更新したい」
☞ P.80「5.3.3 設定を保存したい／元に戻したい」
☞ P.82「5.3.4 再起動したい」
☞ P.84「5.3.5 工場出荷時の状態に戻したい」

5.3.1　無線接続の効率を上げたい

本商品 には無線 LAN アダプタへの無線通信を圧縮する「コンプレッションモード」を搭載しています。これにより、同じく「コンプレッションモード」を搭載した無線 LAN アダプタ（CG-WLCB 126GM）間の無線通信の効率を上げることができます。

次の手順で設定してください。

- 無線LAN内蔵パソコンまたは「コンプレッションモード」を搭載していない無線 LAN アダプタとの無線通信は、圧縮されずに送受信されます。
- お使いの環境によって、近隣に複数の ESSID（SSID）が存在している場合があります。この場合、ESSID（SSID）を変更することをお勧めします。

1 Internet Explorer を起動します。アドレス欄に「192.168.1.230」を入力し Enter キーを押します。

2 本商品の設定画面にログインします。

☞ P.34「3.3　設定画面にログインする」

3 画面左側のメニューから「無線アクセスポイント設定」－「802.11b/g 設定」の順にクリックします。

4 「コンプレッションモード」を「有効」にして [設定] をクリックし、本商品の設定画面を閉じます。

5　CG-WLCB126GM を設定したパソコンの画面右下 のをダブルクリックします。

6　「オプション」タブを選択し、「コンプレッションモード」を「有効」にし、[適用]をクリックします。

7　「設定」タブを選択し、「優先するアクセスポイント」に表示されている ESSID を選択し、[削除]をクリックします。複数表示されている場合はすべて削除してください。

8　[再検索] をクリックし、「AP 検索」欄から接続したいESSID を選択、[接続]をクリックします。

9　「プロパティ」画面が表示されますので、[OK]をクリックします。

10　手順 7 の画面に戻りますので、[適用] をクリックし、「優先するアクセスポイント」欄に表示されている ESSID のアイコンが になっていることを確認します。

以上で、設定は完了です。

5.3.2　最新のファームウェアを入手して更新したい

本商品のファームウェアを最新版に更新できます。最新のファームウェアはコレガホームページ（http://corega.jp/）よりダウンロードできます。

ファームウェアを更新すると、設定した内容がすべてクリアされますので、設定内容をファイルに保存しておくことをおすすめします。

☞ P.80 「5.3.3 設定を保存したい／元に戻したい」

ファームウェアを更新する前に、工場出荷時の状態に戻してください。

☞ P.84 「5.3.5 工場出荷時の状態に戻したい」

■ファームウェアを更新する

ここでは「C:¥corega」という名前のフォルダに「XXXXXX.xxx」というファイルを保存した場合を例として説明します。

1 設定画面にログインし、「管理」－「ファームウェア更新」をクリックします。

2 ［参照］をクリックします。

3 「C:¥corega」内の「XXXXXX.xxx」を選択し、［開く］をクリックします。

4 手順２の画面に戻ります。［更新］をクリックします。

5　[OK]をクリックしてファームウェアを更新します。

6　ファームウェア更新中は次の画面が表示されます。ファームウェアの更新が終了するまでお待ちください。

ファームウェアを更新しています。
更新中は電源を切らないでください。

更新完了まであと 99 秒お待ちください。

ファームウェアの更新中は、ほかの操作を行ったり、本商品の電源を切ったりしないでください。ファームウェアのアップデートに失敗すると、本商品が故障するおそれがあります。

7　ファームウェアの更新が終了すると、ログイン画面が表示されます。Web ブラウザを閉じます。

8　本商品を工場出荷時の状態に戻します。Init ボタンを 10 秒以上押し続け、離します。

Init ボタンは、クリップなど硬くて細いもので押してください。

ファームウェアを更新したあとは、必ず Init ボタンを使用して本商品を工場出荷時の状態に戻してください。設定画面の「工場出荷時の状態へ戻す」を実行しないでください。

以上で、ファームウェアが更新されました。

設定内容を保存している場合は、以下の手順で設定を元に戻してください。

☞ P.80 「5.3.3 設定を保存したい／元に戻したい」

■ファームウェアの更新に失敗したときは

ファームウェアの更新に失敗したときは、いったん本商品を工場出荷時の状態に戻したあとで、再度ファームウェアの更新を実行してください。

☞ P.84「5.3.5 工場出荷時の状態に戻したい」

5.3.3　設定を保存したい／元に戻したい

設定した内容をファイルに保存しておくことや、設定ファイルを読み込んで本商品を設定できます。

■設定を保存する

1　設定画面にログインし、「管理」をクリックします。

2　「設定保存」の［保存］をクリックします。

3　［保存］をクリックします。

4 「名前を付けて保存」画面が表示されますので、保存する場所を指定して［保存］をクリックし、ファイルを保存します。

以上で、本商品で設定した内容をファイルに保存しました。

■設定を元に戻す

1 設定画面にログインし、「管理」をクリックします。

2 「設定読込」の［読込］をクリックします。

3 ［参照］をクリックして、保存したファイルを指定します。

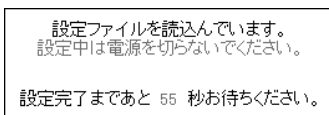
4 手順３の画面に戻ります。［読込］をクリックします。

Q&A

5　［OK］をクリックしてファイルを読み込みます。

6　ファイルの読み込み中は次の画面が表示されます。ファイルの読み込みが終了するまでお待ちください。

設定ファイルを読込んでいます。
設定中は電源を切らないでください。

設定完了まであと 55 秒お待ちください。

7　ファイルの読み込みが終了すると、ログイン画面が表示されます。

以上で、本商品の設定が元に戻りました。

5.3.4　再起動したい

本商品の設定を変更した場合は、本商品を再起動して設定を反映させてください。

本商品を再起動するには、次の 2 つの方法があります。

■電源を入れ直して再起動する

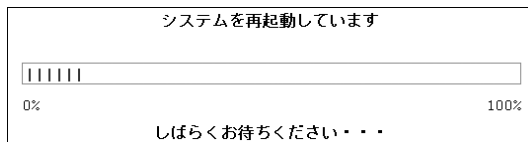
AC アダプタを電源コンセントから抜きます。30 秒以上経過したあとで、電源コンセントに差し込みます。

■設定画面で再起動する

1　設定画面にログインして、「管理」をクリックします。

2　「再起動」の［実行］をクリックします。

3　［OK］をクリックして再起動します。

4　再起動中は次の画面が表示されます。再起動が終了するまでお待ちください。

5　［OK］をクリックします。ログイン画面が表示されます。

以上で、本商品が再起動しました。

Q&A

5.3.5　工場出荷時の状態に戻したい

本商品を工場出荷時の状態に戻すことができます。設定した内容がすべてクリアされますので、設定内容をファイルに保存しておくことをおすすめします。

☞ P.80「5.3.3 設定を保存したい／元に戻したい」

本商品を工場出荷時の状態に戻すには、次の 2 つの方法があります。

■ Init ボタンで工場出荷時の状態に戻す

1 本商品の電源がオンの状態で、本商品背面の Init ボタンを 10 秒以上押して、離します。

Init スイッチはクリップなど硬くて細いもので押してください。

2 Power LED以外のLEDがいったん消灯します。Wireless LED が点灯したら、工場出荷時の状態に戻ります。

■設定画面で工場出荷時の状態に戻す

1 設定画面にログインして、「管理」をクリックします。

2 「工場出荷時の状態へ戻す」の［実行］をクリックします。

3　[OK] をクリックして工場出荷時の状態に戻します。

4　次の画面が表示されますので、工場出荷時の状態に戻るまでお待ちください。

システムを工場出荷時の状態へ戻しています。
しばらくお待ちください。

5　工場出荷時の状態に戻ると、ログイン画面が表示されます。

以上で、本商品が工場出荷時の状態に戻りました。

Q&A

付録

本商品の仕様、保証や修理のご案内、弊社 サポートセンタへの連絡先などを記載しています。

仕様一覧

サポート規格	**無線 LAN**	（国際規格）IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11
		（国内規格）ARIB STD-T66
	LAN	IEEE802.3u（100BASE-TX）/IEEE802.3（10BASE-T）/IEEE802.3x（Flow Control）
取得承認		VCCI クラス B、技術基準適合証明
対応 PC		DOS/V パソコン
対応 OS		Windows XP/2000/Me/98SE
推奨ブラウザ		Internet Explorer 5.5 以上
無線 LAN 仕様	**周波数帯域**	[IEEE802.11g/b] 2.412GHz ～2.472GHz（中心周波数表示）
	チャンネル数	[IEEE802.11g/b] 13ch（1 ～13ch）
	伝送速度	[MIMO]126/108/96/84/72/48/42/36/24Mbps [IEEE802.11g]54/48/36/24/18/12/9/6Mbps [IEEE802.11b] 11/5.5/2/1Mbps
	伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重変調方式）、DS-SS（直接拡散型スペクトラム拡散方式）
	通信モード	Infrastructure（アクセスポイントモード）
	アンテナ形式（タイプ）	固定式ダイポール型アンテナ× 3（3 × 2MIMO 方式）
	セキュリティ	SSID（IEEE802.11：ID（文字列）による識別）、WEP（64/128bit）、WPA/WPA2-PSK（パーソナル）、WPA2-PSK（パーソナル）、WPA/WPA2-EAP（エンタープライズ：IEEE802.1X 認証）、WPA2-EAP（エンタープライズ：IEEE802.1X 認証）、TKIP/AES（WPA/WPA2 の設定内に含む）、IEEE802.1X-WEP（ダイナミック WEP 対応）、ステルス AP（SSID 名隠蔽、ANY 拒否）、MAC アドレスフィルタリング、無線端末↔有線端末間通信、無線端末↔無線端末間の有効／無効
LAN 仕様	**規格**	100BASE-TX/10BASE-T、Full Duplex/Half Duplex オートネゴシエーション
	ポート	RJ-45 ×5 ポート（全ポート MDI/MDI-X 自動認識）アップリンク含む
LED		Power（緑）× 1、Status（緑）× 1、Uplink（緑）× 1、LAN1 ～ 4（緑）×各 1、Wireless（緑）× 1
電源仕様	**定格入力電圧**	AC100V（50/60Hz）
	定格入力電流	500mA
最大消費電力		11.3W
環境条件	**動作時**	温度 0 ～40 ℃／湿度 90%以下（結露なきこと）
	保管時	温度－ 20 ～ 60 ℃／湿度 95%以下（結露なきこと）
外形寸法		198（W）× 32（D）× 120（H）mm 本体のみ（アンテナ、突起部を含まず）
質量		400g 本体のみ

工場出荷時設定

IP アドレス	192.168.1.230
ログイン名（管理者ユーザ名）	root
パスワード	（空欄）
ESSID（SSID）	corega
暗号化	なし

保証と修理について

■保証について

別紙の「製品保証規定」を必ずお読みになり、本商品を正しくご使用ください。無条件で本商品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。本商品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書をご覧いただき、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、コレガホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトの上、必要事項を記入したものと製品保証書および購入日の証明できるもののコピー（レシートなど可）を添付し、商品（添付品一式とともに）をご購入された販売店へお持ちください。修理をご依頼する際は、以下の点にご注意ください。

・修理期間中の代替機などは弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。
・保証書に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
・商品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
・修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。

■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入の販売店へお持ちください。コレガホームページに有償修理価格が記載されておりますのでご覧ください。

http://corega.jp/repair/

索引

数字

C

D

E

I

L

M

P

R

S

U

W

あ

い

か

こ

おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため商品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

2006 年 12 月 初版

壁掛け用ネジセット取り付けガイド

原寸大のネジ穴ガイドです。付属のプラスチックアンカを取り付ける場合に、
コピーしてお使いください。

【コレガ FAX サポートセンタ　045-476-6294】

お問い合わせ用紙

お電話にてお問い合せをいただいた場合、製品の仕様上、環境や症状などに関して、正確に把握するまでお時間を要し、問題解決にお時間がかかる場合がございます。大変お手数ですが、なるべく FAX・MAIL サポートをご利用頂きます様お願い致します。

お問い合わせ日：　　　年　　月　　日

コレガサポートセンターにご質問される場合、お問い合わせ商品に関する以下の情報をご記入ください。

会社名		**部署名**	
フリガナ		**ご購入先**	
ご担当者名			
ご連絡先	TEL： 携帯電話：	FAX：	

商品を複数台お使いの場合はその旨ご記入ください。

商品名（型番）		**ファームウェアバージョン**	
シリアル番号	(S/N) □□□□□□□□□□□□□□□□　Rev.□□		

以下にご利用のネットワーク構成やご利用環境をご記入ください。

以下にご質問内容をご記入ください（□にチェックを付けてください）。

□トラブル　（□常に発生する　　□特定の動作をすると発生する　　□不定期に発生）
□設定方法　（□初期等　　□購入後）

□別紙有り（ログデータ、設定画面、書ききれない場合などある場合は、添付してください）

－　このページをコピーしてお使いください　－

メールサポートも承っておりますのでご検討ください　http://corega.jp/faq/

■コレガホームページのご案内

コレガホームページでは、各種商品の最新情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをおすすめします。

http://corega.jp/

■商品に関するご質問は･･･

商品のご質問はコレガサポートセンタまでお問い合わせください。お問い合わせの際にはコレガホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、メール、FAX、電話でのいずれかでお問い合わせください。

●お問い合わせ先

【コレガサポートセンタ】

Mail サポート：下記 URL からユーザ登録をした後、お問い合わせをしてください。

http://corega.jp/faq/

FAX：045-476-6294

TEL：045-476-6268

〈受付時間〉

10：00 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00　月～金（祝・祭日を除く）

※本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、日本語版の OS のみ動作を保証しています。そのため、日本語版 OS 以外のお問い合せはお受けできませんのでご了承ください。

※サポートセンタへのお問い合せは日本語に限らせていただきます。
This product is supported by Japanese only.

※電話が混み合っている場合は、Mail サポートおよび FAX サポートをご利用ください。

●必要事項

あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。

・商品名
・シリアル番号（S/N）、リビジョンコード（Rev.）
・お名前、フリガナ
・連絡先電話番号、FAX 番号
・購入店
・購入日付
・お使いのパソコンの機種
・OS
・接続構成
・お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）

PRINTED WITH SOY INK　本書は再生紙を使用しています。